

**製品名: NF-YB ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14663**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	29kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NFYB
別名	NFYB; HAP3; Nuclear transcription factor Y subunit beta; CAAT box DNA-binding protein subunit B; Nuclear transcription factor Y subunit B; NF-YB
遺伝子 ID	4801.0
SwissProt ID	P25208
免疫原	抗血清はヒト NFYB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

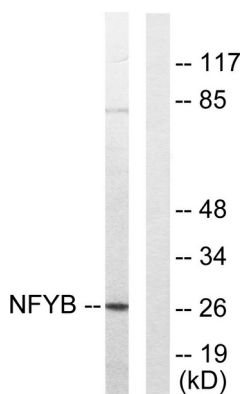
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、三量体複合体の1つのサブユニットであり、様々な遺伝子のプロモーター領域にあ

る CCAAT モチーフに高い特異性で結合する、高度に保存された転写因子を形成します。この遺伝子産物であるサブユニット B は、サブユニット C と強固な二量体を形成します。これはサブユニット A との結合の前提条件です。結果として生じる三量体は、高い特異性および親和性で DNA に結合します。サブユニット B と C はそれぞれヒストン様モチーフを含んでいます。これらのサブユニットのヒストンとしての性質は、タンパク質配列のアライメントと変異体を用いた実験という 2 つの証拠によって裏付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、ドメイン:弱く保存された A ドメイン、サブユニット相互作用と DNA 結合に関与すると考えられる高度に保存された B ドメイン、およびグルタミンに富む C ドメインの 3 つのドメインに分けられます。機能:プロモーター中の CCAAT モチーフを認識して結合することにより、様々な遺伝子の転写を刺激します。例えば、1 型コラーゲン、アルブミン、β アクチン遺伝子などです。類似性:NFYB/HAP3 サブユニットファミリーに属します。サブユニット:NF-YA、NF-YB、NF-YC の 3 つの成分からなるヘテロ三量体転写因子です。NF-YA の会合と DNA 結合には、NF-YB と NF-YC が相互作用して二量体を形成する必要があります。

## 研究分野

抗原の処理と提示

## 画像データ



NFYB 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



NF-YB ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。